

昭和医科大学横浜市北部病院

病院だより9月号

【巻頭言】	P1
【医学講座コーナー】	P2
【病院からのお知らせ】	P3
【ご意見・ご要望】【編集後記】	P4

【巻頭言】 リハビリテーション室



リハビリテーション科
診療科長 永井隆士

～ 生活を育むリハビリテーション医療を目指して ～

地域の皆様には、平素より昭和医科大学横浜市北部病院の診療にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

2026年4月1日より、リハビリテーション科の診療科長を務めております永井隆士です。このたび、当科が大切にしている考え方と役割についてご紹介いたします。

リハビリテーションというと、歩く練習や筋力をつける訓練を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、その目的は身体の機能を回復させることだけではありません。

食べる、起きる、座る、立つ、歩く、トイレに行く、家に帰る。そして、住み慣れた地域で自分らしく暮らす。私たちは、こうした毎日の生活を支え、育んでいくことがリハビリテーション医療の大切な役割だと考えています。

急性期病院に入院される患者さんは、病気やけがに加え、安静による体力低下、食べる力の低下、気力や認知機能の変化、退院後の生活への不安など、さまざまな課題を抱えています。当科では、入院早期から患者さんの状態を確認し、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどが力を合わせ、その方に必要な支援を考えています。

特に、安全に食べるための評価や支援、体力低下を防ぐための早期離床、病状に応じた運動内容の調整は、当科の重要な役割です。食事の形、姿勢、食べ方を工夫し、誤嚥や肺炎を防ぎながら、できる限り口から食べ続けられるよう支援しています。また、無理のない範囲で早くから身体を動かし、寝たきりを防ぐことにも取り組んでいます。患者さんの状態は日々変化するため、安全性に十分配慮しながら、回復の機会を逃さないことが大切です。

さらに、集中的なリハビリテーションが必要な患者さんには、昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院などと連携し、急性期の治療から回復期、そして地域での生活へと切れ目なくつないでいます。退院や転院の際には、治療の経過だけでなく、食事や移動の状況、生活上の課題も共有し、次の支援につなげています。

病気やけがを乗り越えた先にある「その人らしい生活」を支えるため、これからも地域の医療機関や多くの専門職と顔の見える連携を大切に、患者さんにご家族が安心して地域で暮らし続けられる医療を目指してまいります。

今後ともご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

人間ドックの上手な活用法

はじめに

「毎年、会社の健康診断は受けているけれど、人間ドックは受けたことがない」—そんな方は少なくないと思います。人間ドックは決して特別なものではなく、ご自身の身体を定期的に点検し、病気を未然に防ぐための身近な手段です。

一方で、「検診」「健診」「人間ドック」という言葉が入り混じり、それぞれ何が違うのか分かりにくい、という声もよく耳にします。今回は、これらの違いと、人間ドックを上手に活用するための「オプション検査の選び方」についてご紹介します。

「健診」と「検診」の違い

「健診」は「健康診断」の略で、身体全体の健康状態を幅広く確認することを目的とします。事業所で行う定期健康診断や、特定健診（いわゆるメタボ健診）がこれにあたります。生活習慣病の兆候がないかを総合的にチェックするものです。

これに対して「検診」は、特定の病気を早期に見つけることを目的とした検査です。代表的なものが「がん検診」で、対象となる臓器や病気を絞って調べます。「検診」は特定の病的を狙う、とイメージしていただくと分かりやすいと思います。事業所で実施する定期健康診断は労働安全衛生法に基づき実施され（事業者の義務）、市区町村のがん検診や特定健診は健康増進法などに則って行われています。無料または低額で受けられる利点がある反面、項目は必要最小限にとどまるという特徴があります（事業所によっては、オプション検査追加によって幅広く健康診断を行うこともあります）。

では、人間ドックはどちらでしょうか。

人間ドック受診の意義

人間ドックは、「健診」を充実させたものと位置づけられます。定期健康診断が法律で定められた最低限の項目にとどまるのに対し、人間ドックは検査項目が多く、より精密です。

検査項目は実施施設により異なりますが、当院の基本ドックには腹部超音波や胸部の画像検査、胃がんリスク検査などが基本項目の中に含まれ、全身をより丁寧に評価できます。

後述するオプション検査を組み合わせることで、「検診」的な役割も同時に果たせる点が大きな特徴です。「会社の健診だけでは物足りない、もう一歩踏み込んで調べておきたい」、という方にこそ人間ドックはお勧めです。その魅力は、基本検査に加えて、ご自身の状態に合わせたオプション検査を選べることです。ただし、種類が多いため「何を選べばよいかわからない」と迷われる方も多いようです。

上手に活用するポイントは、次のふたつです。



活用ポイント1

第一に、年齢・性別・生活習慣・家族歴をふまえて選ぶことです。たとえば、喫煙歴のある方は肺の検査（胸部CT）を、ご家族に大腸がんや胃がんの方がいる場合は内視鏡検査を、女性の方は乳がん、婦人科ドックを検討するとよいでしょう。高血圧の方や脳卒中のご家族歴がある方には、脳の状態を調べる検査（脳ドック）も選択肢になります。

活用ポイント2

第二に、「その年だけ」で終わらせず、経年変化として見ていくことです。過去の結果と比べることで、基準値の範囲内であっても徐々に悪化している項目に気づくことができ、早めの対策につながります。可能であれば、同じ施設で継続して受けることをおすすめします。

当院で再検査、精密検査を行う場合は、電子カルテ上で人間ドックの全ての結果を確認できますので、見落としなく効率良く診療を実施できる利点があります。

是非、北部病院での人間ドック受診をご検討下さい。

おわりに

人間ドックは受けること自体が目的ではなく、結果を生活の見直しや必要な受診につなげてこそ意味があります。

ご自身に合った検査を賢く選び、健康づくりの一助としていただければ幸いです。

当院の人間ドックの代表的なオプション検査

検査名称	検査内容	検査から発見される主な疾患
脳ドック	MRI・MRA 検査、頸部動脈血管超音波検査	腫瘍、変性疾患、脳血管疾患
肺がんドック	CT 検査	肺がん、胸部疾患
大腸がんドック	大腸内視鏡検査	炎症、潰瘍、ポリープ、がん
胃がんドック	胃・十二指腸内視鏡検査	炎症、潰瘍、ポリープ、がん
婦人科ドック	子宮頸部細胞診、経膈超音波検査	子宮筋腫、子宮がん、経膈部疾患
乳がんドック	乳房超音波検査、マンモグラフィー	乳がん
PET/CT ドック	ボジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	全身のがん診断（診断が困難ながんもあり）

詳細は以下のwebを参照下さい。



内科腎臓、人間ドック室運営委員会委員長 緒方 浩顕

HOSPITAL INFORMATION

◆9月の診療状況について

日付		曜日	休日名	診療状況
9月	19日	土		通常診療
	20日	日		休診
	21日	月	敬老の日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。
	22日	火	国民の休日	
	23日	水	秋分の日	

※紹介状がない場合は選定療養費（11,000円）が別途発生する場合があります。

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答
面会受付の場所を、病院の内側からでも分かりやすく表示してほしい。外（南口）から入って来る人だけではないので。	この度はご不便をおかけし申し訳ありませんでした。面会受付（中央棟地下1階南口）の場所が、院内からも分かりやすくなるよう、表示を改善いたします。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：管理課)
朝来たら、いつもの歩道沿いに駐輪できなくなっていました。駐輪場の確保をお願いします。お見舞いに来るのにバイクでないと不便です。	ご不便をお掛けして申し訳ございません。 以前より公道のため駐輪禁止エリアであった箇所について、行政から改めて改善するよう指導があり、駐輪禁止エリアの再周知をしております。 当院の駐輪場所には限りがございます。 近隣の駐輪場のご利用、または公共交通機関でのご来院をご検討いただけますと幸いです。  (回答部署：管理課)

編集後記

立秋を過ぎたとはいえ厳しい残暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。夏の疲れが出やすい時期ですので、こまめな水分補給と十分な休養を心がけたいものです。

さて、これから秋が深まるにつれ、地域や学校での運動会、秋祭りや行楽など、外出の機会が増える時期を迎えます。爽やかな秋空のもと体を動かしたり、行事を楽しまれたりするのにも秋ならではの醍醐味ですね。

一方で、季節の変わり目は朝晩の寒暖差が増す時期でもございます。お出かけの際は羽織るものを一枚持ち歩くなど体調管理に気を配り、秋の行事を存分にお楽しみください。

朝夕の寒暖差にご自愛いただき、実り多き秋をお過ごしください。

地域医療連携室 中本 有紀

【受付時間・休診日】

受付時間/初診 月～土 8時30分～14時00分 ※11時00分～14時00分は事前予約制です。

受付時間/再診 月～土 8時30分～17時00分 ※当院の再診は予約制です。

面会時間 各病棟で異なります。詳しくはホームページをご確認ください。

休診日 日曜、祝日、創立記念日（11月15日）、年末年始（12月29日～1月3日）

ホームページURL：https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/

【診療担当医表】



北部病院だより 第218号（2026年8月1日発行） 発行 昭和医科大学横浜市北部病院
発行責任者 坂下 暁子（昭和医科大学横浜市北部病院院長） 編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1 電話045-949-7000(代表)
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

